

RD-DRO01

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

本製品は、パイオニア製ドライブレコーダー専用です。また、接続するドライブレコーダーによってACC連動の対応/非対応が異なります。詳しくは、弊社ホームページでご確認ください。
URL : <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



■電話

《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトで確認ください

【固定電話から】0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)

または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2021

< KFWZ21B > < 127075007843 >



安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

接続・取り付け

警告



禁止

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない。制御不能や発火、交通事故の原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない。

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。



強制

コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する。

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する。

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける。

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

注意



禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

使用方法

警告



禁止

液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、規定容量(アンペア)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する。

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

- 本機は車両電源を常時使用するため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長期間車両を使用しない場合や短距離運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下し、バッテリー上がりの原因となることがあります。定期的に車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないように心がけてください。
- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境でバッテリーにかかる負荷状況は異なり、バッテリー上がりの原因となる場合もあります。電圧カットオフを設定する際にはご注意ください。
- パイオニア製ドライブレコーダー以外には使用しないでください。対応モデルについては当社ホームページでご確認ください。
URL : <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/>
- 車両のバッテリー上がりについては、弊社は一切の責任を負いません。

アフターサービス

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

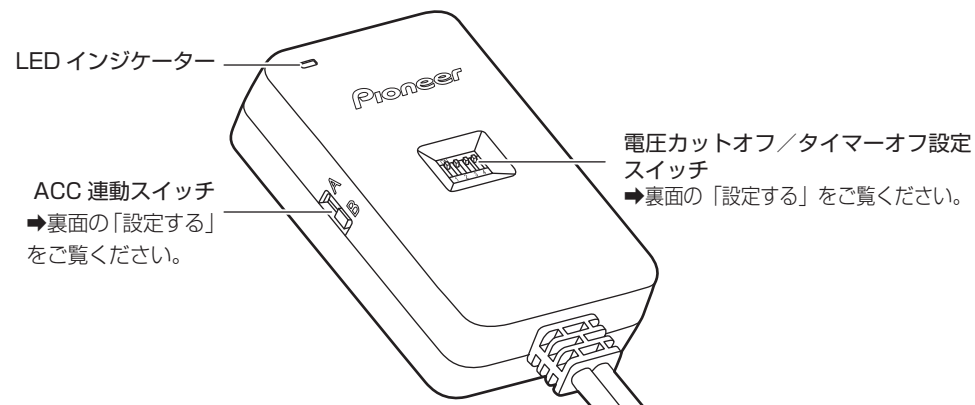
仕様

入力電源電圧	DC 12 V / 24 V
出力電源電圧	DC 5 V (最大 1.5A)
電圧カットオフ設定	12 V 時 : 11.6 V / 11.8 V / 12.0 V / 12.2 V 24 V 時 : 23.2 V / 23.6 V / 24.0 V / 24.4 V
タイマーオフ設定	1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間
ACC 連動切替スイッチ	A モード / B モード
動作温度	- 10 °C ~ + 60 °C
本体外形寸法 (W × H × D)	45 mm × 70 mm × 22 mm
本体質量	195 g
ケーブル長	車両電源から本体 (1 m) 本体からドライブレコーダー (4 m)

メモ

- 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

各部の名称と状態表示



LED インジケータの点灯・点滅によって本機の状態を表します。正常に点灯・点滅しない場合は、接続をやり直してください。

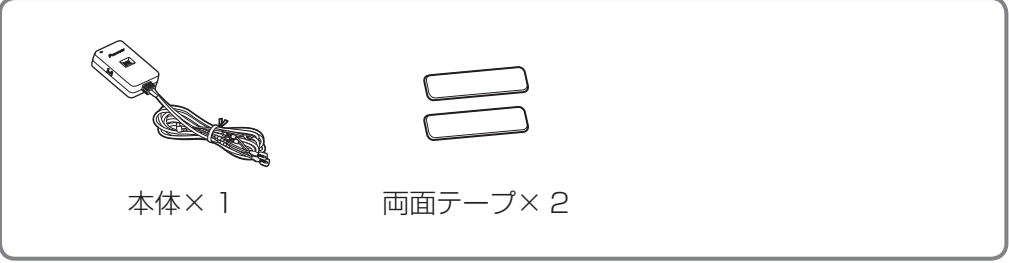
LED 表示	点灯	点滅*1	点滅*2	消灯*3
電源の状態	ACC/ 常時電源オン	ACC オフ・常時電源オン	ACC オフ・常時電源オン	ACC/ 常時電源オフ
本体の状態	電源オン	駐車監視動作中	通常録画動作中	電源オフ

※1 ACC 連動ドライブレコーダーに接続する場合、駐車監視動作は接続するドライブレコーダーによって、動作内容が異なります。詳しくは接続先ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

※2 ACC 連動非対応ドライブレコーダーに接続する場合、ACC オフ後も常時録画を継続します。

※3 タイマーオフ設定時間に達するか、車両バッテリーが電圧カットオフ設定値以下となった場合、LED は消灯します。

● 接続・取り付け部品を確認する



● 取り付ける前に

取り付け上のご注意

- 付属の両面テープを使用して、しっかりと車両に固定してください。
- 本体底面
- 両面テープ貼り付け位置
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。スベアボードやハッチバックのリアトレイなど車の振動で動く位置には絶対に取り付けられないでください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には絶対に取り付けられないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所
 - * ヒーターの吹き出し口の近く
- 雨水がかかりやすい場所には取り付けられないでください。
- ホコリや泥などが混入しやすい場所には取り付けられないでください。
- カーペットなどで覆わないでください。
- ケーブルに大きなショックがかからないような場所に設置してください。
- 本機を蹴ってしまうような場所や、積み荷によって荷重がかかってしまう場所は避けてください。

⚠ 注意

- ヒューズが切れているときは、新しいミニ管ヒューズ（直径 5.2 mm / 長さ 20 mm）に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定タイプ、容量のヒューズ（F 2A L/250 V、F 500mA L/250 V）と交換してください。

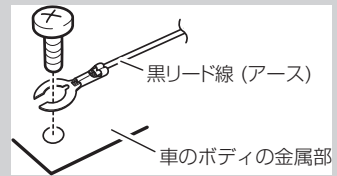
● 接続する

接続端子の脱着

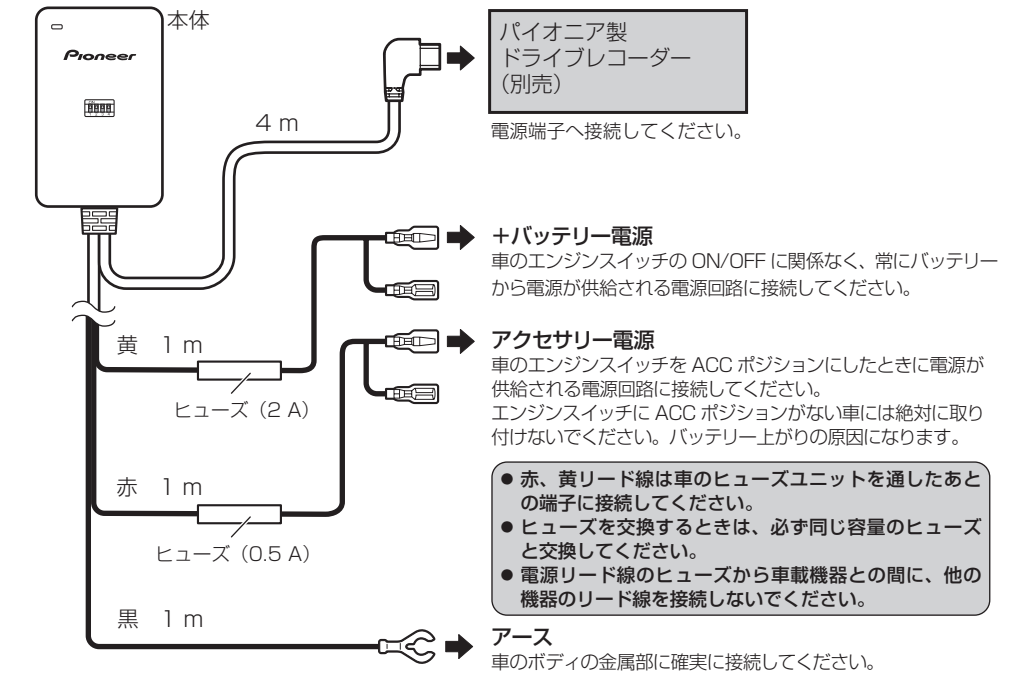
- 接続端子は、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、接続端子の向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 接続端子を外すときは、コネクタ部分を持って引っ張ってください。ケーブルを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。

接続上のご注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。
- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- ケーブルを処理するときは、危険ですので、運転席の足元には配線を引き回さないでください。



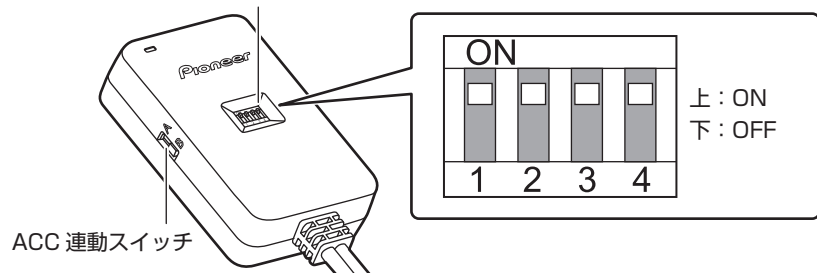
接続図



設定する

本機および接続するドライブレコーダーをお使いになる前に、ACC 連動設定および電圧カットオフ設定、タイマーオフ設定を行ってください。

電圧カットオフ／タイマーオフ設定スイッチ



ACC 連動設定

本機を接続するパイオニア製ドライブレコーダーの仕様に応じて、ACC 連動スイッチを動かしてください。
(工場出荷時：B モード)

スイッチ位置	A モード	B モード
接続先ドライブレコーダーの仕様	ACC 連動ドライブレコーダー	ACC 連動非対応ドライブレコーダー
接続後の動作内容	車のエンジンオフ (ACC OFF) 後、駐車監視機能が動作します。*	車のエンジンオフ (ACC OFF) 後、車両のバッテリー電圧が電圧カットオフ設定値以下になるか、タイマーオフ設定の時間に達するまで常時録画を継続します。

メモ

- A モードの場合、本機でのタイマーオフ設定は無効になります。
- ※ 駐車監視機能の動作条件については、接続するドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。対応モデルについては当社ホームページでご確認ください。
URL : <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/>

電圧カットオフ設定

車両のバッテリー電圧 (12 V / 24 V) に応じて、電圧カットオフ設定スイッチ (3、4) を動かして設定してください。

車両のバッテリー電圧が電圧カットオフ設定値以下になった場合、本機は自動的に動作を停止します。
(工場出荷時：11.8 V / 23.6 V)

スイッチ位置	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
電圧カットオフ設定値 (12 V 車の場合)	11.6 V	11.8 V	12.0 V	12.2 V
電圧カットオフ設定値 (24 V 車の場合)	23.2 V	23.6 V	24.0 V	24.4 V

メモ

- 使用環境や車両の状態によって、電圧カットオフ設定値は ±2% 程度の誤差が生じます。

タイマーオフ設定

タイマーオフを使用する場合は、タイマーオフ設定スイッチ (1、2) を動かして設定してください。
ACC OFF 後から設定した時間が経過すると、本機は自動的に動作を停止します。
(工場出荷時：3 時間)

スイッチ位置	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
タイマーオフ設定時間	1 時間	3 時間	6 時間	12 時間

メモ

- 設定時間は ±10% 程度の誤差が生じます。
- ACC 連動設定が A モードの場合、本機でのタイマーオフ設定は無効になります。
- ACC 連動設定が B モードの場合、タイマーオフ設定を無効にできません。
- 車両のバッテリー電圧が電圧カットオフ設定値以下になった場合は、設定時間に関わらず、本機は自動的に動作を停止します。